

県立波崎柳川学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

教育基本法ならびに学校教育法の精神に則り、地域社会の要望に応えながら豊かな人間性と人格の形成を図り、社会に貢献する人間の育成を積極的に推進する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
委員会活動を通じて、課題発見・分析・改善を実践しながら、自発的に活動する中で協働力、リーダーシップの育成を図る。	活動記録（ワークシート） 成果物（発表・レポート） 数値データ（アンケート・利用数等）	配慮を要する生徒に関する教員間の情報共有と担当教員による適切な援助。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	各種委員会に所属し、毎週委員会活動を実施する。課題を発見し、課題解決に向けて分析し、改善に向けて行動する。そのサイクルを通じて、よりよい学校生活につなげていく。	活動範囲は校内限定。 地元企業や大学などに協力を求めたい。	礼儀正しく、特別活動に積極的に取り組む生徒。
2年	各種委員会に所属し、毎週委員会活動を実施する。課題を発見し、課題解決に向けて分析し、改善に向けて行動する。そのサイクルを通じて、よりよい学校生活につなげていく。 また、委員会活動の中核として、1年生を指導する。	活動範囲は校内限定。 地元企業や大学などに協力を求めたい。	人間関係構築能力を高め、進路目標に向かって主体的に行動できる生徒。
3年	各種委員会に所属し、毎週委員会活動を実施する。課題を発見し、課題解決に向けて分析し、改善に向けて行動する。そのサイクルを通じて、よりよい学校生活につなげていく。 また、3年生としてリーダーシップを持ち、後輩を指導・援助していく。	活動範囲は校内限定。 地元企業や大学などに協力を求めたい。	TPOをわきまえ規律ある行動を適切にとれ、進路実現を目指し、自ら探究でき、学校行事やボランティア活動を主体的に行うことができる生徒。